

おおつち 議会だより

No. 168

2022年8月5日発行
発行 大槌町議会



主な内容

- 審議した議案 2~3
- 一般質問の項目 4
- 一般質問の内容 5~10
- 委員会活動報告 11

令和4年6月定例会

一般質問に6議員が登壇



岩間委員

◇議案一*

《条例の改正》

◎大槌町固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることが、大槌町町税条例等の一部改正4年度一般会計補正予算など、報告3件、議案6件が提案されました。また、発議案として大槌町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について提案されました。

一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。
一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

《予算》

◎令和4年度大槌町一般会計補正予算(第2号)を定めること:

(全員賛成・原案可決)

◎令和4年度大槌町水道事業会計補正予算(第1号)を定めること:

(全員賛成・原案可決)

《契約の締結》

◎工事請負契約の締結:大槌町内道路照明等取替(LED化)

◎工事請負契約の締結:大槌町内道路照明等取替(LED化)

《発議案》

◎大槌町議会の議員の定数を定める条例

会の議員の定数を、

公布日以後初めてそ

の期日を告示される

一般選挙から、現行

の13人から12人に改

めため、所要の改

正を行うものです。

(賛成多数・原案可決)

こと
(全員賛成・原案可決)

計について、事業が翌年度に及ぶことにより歳出予算を繰り越したことから報告するものです。

議会の動き

（5月）

20日・合同常任委員会
・金石大槌地区行政事務組合議会臨時会(金石市)

23日・令和4年度道路関係縦軸2団体合同総会(宮古市)
24日・議会運営委員会

26日・町村議會議員研修会(盛岡市)
・令和4年度東部町村議会議長会定例総会(田野畑村)

27日・令和4年第3回臨時会
・議会運営委員会

28日・令和4年度大槌町戦没者追悼式献花式
・令和4年度町村議會議長副議長研修会(東京都)

30日・令和4年度町村議會議長
・副議長研修会(東京都)

3日・6月定例会(～9日)
12日・第2回岩手大槌サーキモン祭り

30日・令和4年度暴力追放金石地区会議総会(金石市)

（6月）



審議した議案

◇特別委員会の 中間報告――*

◎議会活性化特別委員会の調査項目の1つである「議員の定数と報酬について」調査が終了したことから、大槌町議会会議規則第47条第2項の規定により報告するものであります。

(1)議員定数について

調査により「次期改選後の大槌町議会の議員の定数は12名が適正である。」という調査結果を報告するものです。

◇第3回臨時会

令和4年第3回臨時会は、5月27日に開催され、承認1件、議案3件が提案されました。

◎大槌町非常勤特別職の職員の報酬に関する条例の一部を改正する条例：大槌町職員の不祥事に係る第三者委員会設置条

し、欠席期間が3か月から6か月で議員報酬の20%を減額、6か月から12か月で30%を減額、12か月を超えた場合50%を減額することが適正であり、(仮称)「議員報酬等の特例に関する条例」として新たに条例を制定するべきである。

また、「議員が刑事事件において逮捕された場合等は、議員報酬を支給停止、有罪が確定した場合は不支給とする条項を定めることが適正である。」との調査結果を報告するものです。

(2)議員報酬について

①議員報酬月額について調査により「議員報酬額は増額するこれが適正である。」との調査結果を報告するものです。

◇議案――*

《条例の制定・改正》

例の制定等に伴い、所要の改正をするものであります。

(全員賛成・原案同意)

《予算》

◎令和4年度大槌町一般会計補正予算(第1号)を定めること：

第179条第1項の規定により専決処分に対する臨時特別給付金、コロナワイル

スワクチン接種業務

委託料、地域経済活

性化事業業務委託料

などにより補正し、

歳入歳出予算に95

26万1千円を追加

し、予算の総額を9

0億788万7千円

とするものです。

(全員賛成・原案可決)

び関係政令等が令和4年3月31日にそれ

ぞれ公布され、いず

れも原則として同年

4月1日から施行す

ることとなつたこと

に伴い、地方自治法

第179条第1項の

規定により専決処分

したことを報告する

ものです。

(全員賛成・原案承認)

（7月）

14日・岩手県町村議会議長会第1回政務調査会（田野畑村）

21日・令和4年度海水浴場開設に伴う安全祈願祭

15日・岩手県町村議會議長会政務調査会研修会（田野畑村）

22日・合同常任委員会	21日・令和4年度海水浴場開設に伴う安全祈願祭	14日・岩手県町村議会議長会第1回政務調査会（田野畑村）
-------------	-------------------------	------------------------------

定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	第3回臨時会6月定例会		6月定例会	
		5/27		6/3~9	
		出席	欠席	出席	出席
1	菊池 忠彦	1	0	4	0
2	白澤 良一	1	0	4	0
3	佐々木慶一	1	0	4	0
5	澤山美恵子	1	0	4	0
6	阿部 三平	1	0	4	0
7	東梅 守	1	0	4	0
8	阿部 俊作	1	0	4	0
9	東梅 康悦	1	0	4	0
10	欠員	—	—	—	—
11	金崎 悟朗	1	0	4	0
12	阿部 義正	1	0	4	0
13	芳賀 潤	1	0	4	0
14	小松 則明	1	0	4	0

6月定例会一般質問の項目

1 尻澤良一議員
P5

- ①職員の人事管理について
- ②大槌町震災伝承プラットフォームについて
- ③観光行政の取り組みについて

2 澤山美恵子議員
P6

- ①元気なふるさと応援センター事業について
- ②町内の交通手段について

3 菊池忠彦議員
P7

- ①自治会のあり方と地域コミュニティについて
- ②災害時の避難所運営について
- ③子どもの遊び場について

4 東梅康悦議員
P8

- ①国民健康保険税について
- ②県と協調した子ども支援策について

5 阿部俊作議員
P9

- ①有害鳥獣対策について
- ②大槌町文化財について

6 芳賀潤議員
P10

- ①地域支援の今後のあり方について
- ②新型コロナウイルス感染症について
- ③有害駆除（クマ・シカ等）について
- ④町内の街路灯設置及び維持管理の方針について

各議員の顔写真の下部にあるQRコードから、一般質問の録画映像（ユーチューブ）がご視聴できますので、ぜひご覧ください。

※6月定例会の会議録は、8月下旬（予定）に町のホームページに掲載されます。
<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437662.html>

※6月定例会のYouTubeへの配信について町のホームページに掲載しています。
<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437526.html>

職員の人事管理について

能力向上に繋がるよう研修計画を策定し、実施していく



臼澤 良一 議員



【問】職員研修のこれまでの実績と成果は。

【答】(平野町長)

経験年数、専門分野、職責に応じて研修している。

令和元年度は11種類40名、令和2年度は2種類13名、令和3年度は26種類延べ227名が受講。主に法律や制度の説明が多くたので現在、実践的な研修体制に改めるため計画の見直しを行っている。

震災伝承プラットフォームについて

【問】今までの検証を踏まえ、今後の研修のあり方はどのような考え方か。

【答】(平野町長)

平成22年度から「自己申告制度」を導入し、所轄長と面談のうえ、職員の異動希望や適性の把握に努めている。住民サービスに支障をきたすことがないよう、計画的な人材確保や育成を進める。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【問】ワーキンググループ 参加者には自分たちの意見が反映されて無かったと不安に感じている方もいるが。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【問】筋山など大槌の景観資源を活かしきれてない。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【答】(平野町長)

経験年数、専門分野、職責に応じて研修している。

【問】今年度の異動は職員の希望に配慮したのか。

【答】(平野町長)

現在、具体的な方針について協議を進めている。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【問】職員研修のこれまでの実績と成果は。

【答】(平野町長)

経験年数、専門分野、職責に応じて研修している。

【問】今年度の異動は職員の希望に配慮したのか。

【答】(平野町長)

現在、具体的な方針について協議を進めている。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【答】(平野町長)

方針がまとまり次第、皆様に説明する機会を設ける。

【答】(郷古協働地域づくり推進課長)

今年度上半期を予定している。



筋山展望台みはらしの丘



澤山美恵子議員



乗り合いタクシーの現状は

登録者数138人、利用者数は実人数20人

元気なふるさと応援セ
ンター事業について

取り組んで行く。

【問】この事業は昨年度、
社会福祉協議会に委託さ
れ、4人の支援員が活動
していた。高齢独居者の
見守り活動の現状は。

【答】(小笠原健康福祉課長)
社協では生活支援相談
員によるサロン活動等を
各地で開催している。
県からの委託事業で令和
7年度まで継続される予
定。

【問】事業の継続が必要だ
と思うが。

【答】(平野町長)
町として見守ることが
必要であり、しっかりと

【問】当局は3月下旬に社
協から「4人を確保でき
ない」との報告を受け、
今年度の委託を取りやめ
たとのことだが、その理
由は。

【答】(平野町長)
2人になるということ
で委託を取りやめた。

【答】(平野町長)
4月から事業が止
まっている。当局はコ
ミュニティ事業を軽視し
ているのではないか。

【問】乗合タクシーの
現状は。

【答】(平野町長)
がコミュニティ支援に取
り組んでいる。今後の運

営体制については法人委
託も含め検討している。

【問】次の委託先がすでに
決まっているのではない
か。

【答】(北田副町長)
社協とどう協働し続け
ていくのか。職員が安心
して働く環境と、持続
性を踏まえた体制を考え
ていきたい。

【問】利用者を増やす対策
が必要ではないか。

【答】(平野町長)
今年度は乗り合いタク
シーと町民バスの見直し
や改善を含め検討する。

【問】今より小さなバスで、
狭い道まで走らること
で、少しでも多くの人を

【答】(北田副町長)
約束はできないが、そ
の方向で頑張る。

【答】(太田企画財政課長)
実態調査を行い、運行
事業者や利用者と協議し
ながら進める。

【問】町内交通手段につい
て

【問】町内地区の住民から、
町民バスの便数が少なく、
バス停まで遠くて不便だ
と聞いた。市街地の住民

【答】(太田企画財政課長)
国の補助なども視野に
入れ、公共交通会議の中
で整理したい。



利用者が少ない町民バス

地域コミュニティの希薄化に対する町の認識は

地域実態に応じた活動の見直しも検討していく



菊池忠彦議員



【問】行政にとって自治会、地域住民の協力を抜きにして「協働のまちづくり」は成り立たないが、町では自治会の現状をどのように認識しているのか。

【答】(平野町長) 防災、環境美化、子どもや高齢者の見守り等が活発な地域、活動が困難になっている地域と、地域によって異なる状況にある。また、ほとんどの団体が人口減少や少子高齢化等により、役員と活動の担い手確保に苦慮されていると認識している。

事前に把握し、解散を阻止するための対策は講じなかつたのか。

【答】(郷古協働地域づくり推進課長) 役員改選に向けて担い手がないことは、地域の方々から直接伺つており把握していた。その上で自治会とも協議をしたが、解決には至らなかつた。

【問】社会福祉協議会が、「大槌町元気なふるさと応援センター事業」として、自治会に入り課題解決や、様々な支援に取り組んできたが、今年度町は社協に事業委託せず、別事業者を募集するといふ。行政と経験値が高い

【答】(郷古協働地域づくり推進課長) 人員の問題もあり、今年度委託は出来なかつたが、「指摘のとおり社会福祉協議会と町が連携して協働で創りあげていく事業だと認識している。

【問】地域防災力の強化を図るために、自治会ごとに自主防災組織があるが、行政との連携に係る現状と課題は。

【答】(平野町長) 現在、指定緊急避難場所及び指定避難所の見直し作業を実施している。

【問】令和3年版防災白書では、「分散避難」「ホテル・旅館等」も活用した可能な限り多くの避難所の開設を促進しているが、当町の取り組み状況は。

【答】(平野町長) 本年度は子どもの遊び場のあり方について、子どもと保護者をはじめ、幅広く町民と意見交換して検討していく。ワークショップを通じて、遊び場の必要性について町民、行政の意識を深め、教育機関と連携して子どものニーズを直接的に把握し、子どもの遊び場環境の充実に向けた事業や取り組みの方向性を見出していく。

【問】命を守るために一時災害時の避難所運営について

【答】(平野町長) 大槌町避難者ガイドにおいて、新型コロナ感染症を考慮し、避難先として被災リスクの少ない親戚・知人宅への避難、安

全な場所へ移動して車中での避難を呼びかけている。また、風水害時に浸水想定区域及び土砂災害警戒区域外の民間宿泊施設と避難者の受け入れ協議を行つている。



東梅康悦議員



県と協調した子ども支援策は

町独自で高校生まで範囲を拡大し支援

国民健康保険税について

保険連携会議において計画を定め協議を行つてい

る。本計画は、1期3年

の第1期から第4期の計

従事者・年金生活者・職に就いていな方々などであり、現在の社会情勢のなかで多くの影響を受けており、国保税の減税

を検討すべきと考えるが。

現在、第2期の検討段階であり、具体的な各種調整は令和6年度以降の

第3期となる。当面は、

医療費水準・所得水準・

被保険者数・世帯数など

から県が算定した納付

に基づき、町がその納付

に必要な保険税を算定の

うえ、被保険者から徵収

を行う。県から具体的な

調整が示された時点にお

いて、国民健康保険税の取扱について関係機関と協議する岩手県国民健康

成30年度の国保制度改正に伴い岩手県が「国民健

康保険事業の運営に関する方針を定める」とされ、責任主体である岩手県を中心にはじめ、標準的な事務

をはじめ、取り組みについて

【答】（平野町長）

現在の国保運営は、平成30年度の国保制度改正に伴い岩手県が「国民健

康保険事業の運営に関する方針を定める」とされ、責任主体である岩手県を中心にはじめ、標準的な事務

をはじめ、取り組みについて

【答】（平野町長）

現在の国保運営は、平成30年度の国保制度改正に伴い岩手県が「国民健

康保険事業の運営に関する方針を定める」とされ、責任主体である岩手県を中心にはじめ、標準的な事務

をはじめ、取り組みについて

【答】（平野町長）

現在の国保運営は、平成30年度の国保制度改正に伴い岩手県が「国民健

康保険事業の運営に関する方針を定める」とされ、責任主体である岩手県を中心にはじめ、標準的な事務

をはじめ、取り組みについて

う。

【答】（平野町長）

現在の国保運営は、平成30年度の国保制度改正に伴い岩手県が「国民健

康保険事業の運営に関する方針を定める」とされ、責任主体である岩手県を中心にはじめ、標準的な事務

をはじめ、取り組みについて

う。

【答】（関町民課長）

一人当たりの医療給付

【答】（藤原税務会計課長）

国保税の算定は所得割、

【答】（平野町長）

岩手県の新型コロナウ

イルス禍や物価高の影響

【答】（平野町長）

支援策に、当町でも高校

生まで年齢を拡大し、給

付額の上乗せを行い、子

育て世帯を応援したいと

考えている。

【答】（藤原税務会計課長）

資産割、一人当たりの均等割、世帯当たりの平等

【答】（平野町長）

割からなり、所得割は33

【答】（平野町長）

市町村のうち高い方から

【答】（平野町長）

5番目、資産割は17自治

【答】（平野町長）

体のうち2番目であり、

【答】（平野町長）

均等割は33市町村のうち

【答】（平野町長）

31番目、平等割は33市町

【答】（平野町長）

村のうち25番目となつて

いる。

【答】（藤原税務会計課長）

対象人数は約1200人であり、10月頃を目指し、金額は県に準じたい。

【答】（小笠原健康福祉課長）

対象人数は約1200人であり、10月頃を目指し、金額は県に準じたい。



新しい国保ハンドブック

【問】当町における医療給付費の状況は。

【答】（平野町長）

県と協調した子ども支援策について

【問】岩手県では子育て世帯への支援策として、児童手当を受給する世帯に子ども一人当たり1万5千円を給付する計画があるが、当町では県の支援事業にどのように対応す

【問】対象人数、給付の時期、給付額は。

【答】（小笠原健康福祉課長）

対象人数は約1200人であり、10月頃を目指し、金額は県に準じたい。

鳥獣被害対策は

ハンターの育成に取り組む



阿部俊作議員



【答】(平野町長)
頭数抑制は捕獲駆除が効果的と考え、ハンターに一頭1万2千円、ジビ工利用は1万6千円の報奨金で駆除の委託をしている。



山桜に登る熊

【答】(岡本産業振興課長)
はすぐに捕殺すべしとの声もあるが、出没が多くなった要因も検討するところが大事と思う。熊がいて当たり前の山間地に私は住んで居るが、鹿の食害が熊にも影響を与えると見える。鹿の捕獲補助について尋ねる。

【問】鹿の頭数把握はどうか。

【答】(岡本産業振興課長)
岩手県鹿管理計画で平成30年時点の推定個体数

【問】連日のように、熊出没について防災行政無線放送がなされている。熊出没は、熊がい

【答】(岡本産業振興課長)
熊捕獲は猟友会推薦の7名を捕獲従事者に指定している。

有害鳥獣対策について

【問】熊の猟期以外の捕獲の仕組みは。

は10万頭という数値が示され、町内では、年間400頭の鹿を駆除している。

「無形文化財」信仰等「民族文化財」土地埋蔵されている「埋蔵文化財」などがあり、当町では有形

は埋蔵文化財の分野のみであつたため、採用には至らなかつた。

【問】猟友会との協議等について尋ねる。

【答】(岡本産業振興課長)
鳥獣被害対策は関係機関との連携が必要で計画に基づき、熊対策は緊急連絡体制や、鹿の年間捕獲計画等について各関係機関と取り組んでいる。

【問】今まで、信仰等について、政教分離との理由で、仏像や石碑等を避けってきた。今回の答弁は、教育委員会としての答弁か。

【答】(北田副町長)
大槌町文化財について

【問】大槌町では文化財についてどのように考えて

【答】(平野町長)
専門員を募集し、職員も町の状況を把握して、町の歴史を未来につなげていきたい。

【答】(松橋教育長)
大槌町文化財について
文化財とは、人間生活活動によって生み出された価値の高いもので彫刻等「有形文化財」演劇等

【問】文化財に指定するには調査が必要だが、調査員はいるか。

【答】(阿部生涯學習課長)
教育委員会の答弁である。

【答】(北田副町長)
大槌町文化財について
文化財とは、人間生活活動によって生み出された価値の高いもので彫刻等「有形文化財」演劇等

【問】文化財に指定するには調査が必要だが、調査員はいるか。



町内鎌倉仏の調査



芳賀 潤 議員



地域支援の今後のあり方は

地域資源を活用した支援も行つていく

地域支援の今後のあり方について

的に頑張っている地域への支援策の違いは。

困難になる地域が予想されるが、今後の町の関与のあり方は。

方の意見をいただきながら検討し、長期的に取り組む必要があると認識している。

は、第1に町民の皆様に広報などを通じて、改めて住宅付近での餌となるような物を置かない、地区内の藪の刈り払いなど「私たちの生活エリアに熊を寄せ付けない」ための啓発活動を行う。第2に猟友会、警察と連携し、パトロールを行うとともに、適切に捕獲駆除を行う。

は、現状の公共性や公益性を客観的に評価するため、「通行量」「道路形状」「周辺環境」など総合的に評価を行う。例えば、通行量の評価では、申請箇所の周辺において住宅の利用状況などから通行量を推測していく方法や、

【問】「元気なふるさと応援センター事業」は本来、社協の事業のように思え

【答】（平野町長）自治会町内会がある地域に対する支援について

【答】（平野町長）町では、これまでも地域の実情把握に努め、それぞれの地域に応じた様々な支援を行つてきており、この支援策を継続

【問】有害駆除（クマ・シカ等）について

【答】（平野町長）現在、猟友会をはじめ関係機関と連携し対策を実施している。町の有害鳥獣対策における対応としては、防災無線による注意喚起、パトロールや花火などによる追払い、藪の除去、熊の出没が頻発する場合は、県から許可を受け捕獲駆除を実施を図るため、防犯灯の設置は共架できる電柱等が

【答】（平野町長）

【答】（平野町長）

【答】（平野町長）

【問】人的被害も発生しているが、今後の対応策は。

【答】（平野町長）町内の街路灯設置及び維持管理の方針について

【答】（平野町長）元気なふるさと応援センター事業は、地域コミュニティの再構築から活性化の促進へと将来を見据え支援方針を新たにした事業であることから、町が国の支援制度を活用し大槌町社会福祉協議会と連携し取り組んできた。

【答】（平野町長）内会がない地域へは、地域住民が感じている身近な地域課題解決に向けての働きかけや自治会町内会設立へ向けた相談に応じるなどの支援を行つて

【答】（平野町長）一方で、少子高齢、人口減少といった社会的傾向を見据えた場合、将来的地域環境に則した新たな地域組織の在り方、支援

【答】（平野町長）現行の町防犯灯設置及び維持管理要綱との整合を図るため、防犯灯の設置は共架できる電柱等が

【問】自治会組織がない地域への支援と地域活性化に向けた取組と、地域の自治会町内会活動を精力

【答】（平野町長）いる。

【答】（平野町長）困難になる地域が予想されるが、今後の町の関与のあり方は。

【答】（平野町長）町では、これまでも地域の実情把握に努め、それぞれの地域に応じた様々な支援を行つてきており、この支援策を継続

【答】（平野町長）現在、猟友会をはじめ関係機関と連携し対策を実施している。町の有害鳥獣対策における対応としては、防災無線による注意喚起、パトロールや花火などによる追払い、



委員会活動報告

産業建設・総務教民常任委員会による行政視察

(1) 夏いちご周年栽培施設の取り組みについて

(2) ウニの畜養池の施設見学、磯焼け対策の取り組みについて

大船渡市三陸町を視察

産業建設常任委員会（菊池忠彦委員長）及び総務教民常任委員会（芳賀潤委員長）は、令和4年4月20日に、大船渡市三陸町を視察しました。

初めに、越喜来地区にある株式会社リースターファーム浦浜農場で「夏いちごの周年栽培施設」の取り組みについて視察しました。当町を含む沿岸部は、夏は涼しく、冬は寒すぎず日照時間が長いたとなつており、このようないちご栽培の適地となつておらず、このよ

うな沿岸部の気候特性を生かした独自の周年施設栽培技術を確立し、夏いちごの栽培を行つております。当該施設では、コンピュータによる環境制限されたハウスで採苗、育苗、栽培を行つており、常



ビニールハウス内の様子



太田社長からの説明の様子

時、低温管理しながらいちご栽培を始める準備を進めています。通年で業務用いちごを販売しているとのことです。

現在、当町出身者が同社で栽培研修を終了しました。

次に、綾里地区にあるウニの畜養池を視察し、綾里漁業協同組合の担当者から、県の「黄金のウニ収益力向上推進事業」を活用した、ウニの畜養及び磯焼け対策の取り組みについて説明を受けました。

綾里湾内に整備された、広さ約500平方メートル、深さ2~3メートルの畜養池では、メートルの畜養池では、海の磯焼け対策で間引きした「瘦せウニ」を

海藻類が減少・喪失する現象「磯焼け」による藻場の喪失や水産業への深刻な影響を防ぐ取り組みとして、現在「大槌町藻場再生協議会」のダイバーによる藻場保全・磯焼け対策活動が行われております。大槌の豊かな海を未来につないでいくため、町全体で取り組む必要があると強く感じました。

次に、金沢地区においていちご栽培を始める準備を進めています。通年で業務用いちごを販売しているとのことです。

当町でのいちご栽培により、今後さまざまな効果が期待されます。

次に、綾里地区では、「おおつち赤浜地区実証棟」において、水槽を用いてウニの畜養試験が行われていますが、今後は吉里吉里地区船越湾内でのウニの畜養が検討されています。また、当地産業活性化センター赤浜地区実証棟

において、水槽を用いてウニの畜養試験が行われていますが、今後は吉里吉里地区船越湾内でのウニの畜養が検討されています。また、当地産業活性化センター赤浜地区実証棟



ウニの畜養池



ウニの畜養池の説明の様子



表紙写真とタイトル



本号の表紙の写真是、6月27日に船越湾野島付近で撮影したウニ漁の様子です。お忙しい中、撮影に御協力いただいたのは、吉里吉里地区在住の東谷伸吾さんと釜石正さんです。お二人にお話を伺いました。

Q 今シーズンのウニ漁の状況はどうですか。
A 昨年に比べてあまり良くない状況ですね。

Q ウニ漁の今後の抱負をお願いします。

A 良いウニがたくさん採れればよいですね。

Q 町や議会に望むことはありますか。

A 私たちの「食」を支え、生活に必要不可欠な第一次産業の後継者の育成に注力してほしいですね。

東谷さん、釜石さん
取材を快くお引き受けいただき、本当にありがとうございました。



釜石正さん（写真左）、東谷伸吾さん（写真右）

議会報編集特別委員会からのお知らせ

本号からタイトルを「議会報」から「議会だより」に一新しました。また、表紙写真については、平成26年から8年間にわたり町内の「子供シリーズ（保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校）」を続けましたが、本号からは「働く人シリーズ」として、町内で働く方々の様子をお届けします。取材の際はご協力をお願ひします。

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。

町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。

また、定例会の様子は「おあちゃんねる」、「YoutTube」でも視聴いただけます。

●9月定例会は9月1日（木）開会予定です
(予定は変更される場合があります)

委員	議会報編集特別委員会
委員長	委員
委員	副委員長
委員	阿部 俊作
白澤 良一	澤山美恵子
阿部 三平	東梅 康悦

▼今年も連日暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。熱中症を予防するために、暑さを避ける工夫や、こまめな水分補給など十分な対策をとり、体調管理には気をつけましょう。

6月定例会では、同僚議員から熊に関する一般質問がありました。昔は熊は山にいて、人里で目にすることは余りありませんでした。しかし近年では、頻繁に人間の住むエリアに出没します。今後もこの傾向は続くと思われますので、クマを寄せつけない対策、出没した時の熊対策など人間がしっかりと考慮することが必要と実感しております。

（東梅康悦）

編集後記